

沖縄高専人第12号
令和8年6月29日

各 関 係 機 関 の 長 殿

沖縄工業高等専門学校長
鈴木康司
(公印省略)

教員の公募について（依頼）

拝啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、このたび本校では下記のとおり教員公募を行うことになりました。

つきましては、貴機関関係者へご周知くださいますとともに、適任者のご推薦をいただきたく、よろしくお願い申し上げます。

敬具

記

- | | |
|-----------|---|
| 1. 職名及び人員 | 助教 1名 |
| 2. 所属学科 | 機械システム工学科 |
| 3. 専門分野 | 熱工学に関する分野 |
| 4. 主な担当科目 | 熱工学Ⅰ及びⅡ、流体工学、熱流体系科目（専攻科科目含む）、製図系科目、機械システム工学科実験ⅠまたはⅡ（熱や流体系の内容）、卒業研究、特別研究 |
| 5. 採用予定日 | 令和8年11月1日以降の早い時期 |
| 6. 任期 | なし |
| 7. 応募資格 | 高等専門学校設置基準の教員の資格に拠るほか、次の各項を全て満たす方
(1) 博士の学位を有する方、または着任までに博士の学位を取得見込みの方
(2) 本校の組織運営に積極的かつ協調的に参画できる方
(3) 高等専門学校での教育（学級担任や寮生活指導、課外活動指導等の学生指導を含む）、研究、地域貢献（公開講座、出前授業等）、国際交流、産官学連携活動に情熱を持って取り組める方
(4) 高等専門学校での教育経験または民間企業等での実務経験がある方が望ましい
(5) 日本語を母語としない場合には、本校での業務遂行に支障のない日本語運用力を有する方 |

※ 沖縄工業高等専門学校は男女共同参画を推進しており、業績（教育業績、研究業績、社会的貢献、人物を含む）の評価において同等と認められる場合には、女性を優先的に採用します。

8. 提出書類

- (1) 履歴書（様式1）※
 - (2) 教育研究業績一覧（様式2）※
 - (3) 主要論文・特許等（3件以内）の別刷（コピー可）
 - (4) 推薦書（応募者を評価できる方の推薦書、自薦の際は省略可）
 - (5) 高等専門学校における教育、研究及び学生指導に対する抱負（2,000字以内）
 - (6) 問い合わせ可能な方の連絡先2件
- ※様式1及び2は、沖縄工業高等専門学校ホームページ（<https://www.okinawa-ct.ac.jp/about/1673311023/>）からダウンロードすることが出来ます。

9. 応募締切

令和8年8月7日（金）午後5時必着

10. 選考方法

第一次選考：書類審査
第二次選考：面接、模擬授業（宿泊交通費等は自己負担）
※第二次選考は、第一次選考合格者を対象に令和8年9月中に実施予定です。
※模擬授業のテーマについては対象者に個別連絡します。

11. 応募書類提出先

〒905-2192 沖縄県名護市字辺野古 905 番地
沖縄工業高等専門学校総務課人事係
※封筒に「機械システム工学科教員応募書類在中」と朱記し、書留にて郵送のこと。なお、応募書類は原則として返却いたしません。返却を希望される場合は、返信用封筒を同封してください。

12. 問い合わせ先

機械システム工学科長 武村 史朗
TEL : 0980-55-4137
takemura@okinawa-ct.ac.jp

13. 本校 URL

<https://www.okinawa-ct.ac.jp/>

(参考資料)

沖縄高専の教員が携わる授業以外の職務概要

平成16年4月より、全国55の国立高等専門学校は、法人化されて、独立行政法人国立高等専門学校機構として再編され、沖縄工業高等専門学校もその一組織となりました。本校には、本科（5年）と専攻科（2年）があります。現在、わが国の高等教育機関には大きな変革の波が押し寄せており、本校も改革に全校あげて取り組んでいます。また、高専はその教育目標や学生の年齢層（本科：15～20歳、専攻科：20～22歳）の幅広さなどから、大学や高等学校とは本質的に異なる点があります。すなわち、高専の教員は、教育、研究、学校運営、学生の生活指導などすべてをこなさなければなりません。以下では、沖縄高専の教員の授業（実験実習等を含む）以外の職務についての認識を深めていただくために、主な職務の概要を記します。

（1）学級担任

学級担任は、一学級40人程度の学生への勉学や生活指導など、学生生活全般にわたるきめ細かな指導を行います。例えば、毎日、朝のショートホームルームや教室清掃の指導を行い、体育大会や高専祭、校外合宿など各種行事での学生指導、学生の個人面談や保護者との懇談なども行います。

（2）学校運営のための各種委員会

教務委員会、学生委員会、学生寮委員会をはじめ、各種の委員会があり、教員は委員として学校運営に参加します。学級担任との兼務あるいは複数の委員会に所属することもあります。すべての教員は何らかの委員会に所属し、委員会の業務を分担して行います。例えば、寮務委員は寮内の巡回、寮生の日常生活の指導、寮での各種行事・寮生会所属の学生の委員会活動の指導などの職務があります。

（3）研究・地域貢献

高専の教員には、最先端の教育を行うために研究に対する意欲的な姿勢と研究成果を教育や地域社会への貢献につなげることが期待されています。

また、独立行政法人大学評価・学位授与機構による業績審査を5年に1度受けることになっています。

（4）クラブ顧問

ほぼすべての教員が、クラブ顧問としての日常的な課外活動指導をはじめ、各種コンテストまたは高専体育大会（地区大会・全国大会）の運営や高体連などの各種大会および練習試合の引率、合宿時の指導などを行っています。